

令和5年第11回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和5年11月29日（水曜日） 午後1時45分から4時1分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・馬場優子・芳澤佐織
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課長 中條智則・図書館長 宮崎剛
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	1人
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第35号

議題及び決定事項等

議案第35号 令和5年度日高市一般会計補正予算（第5号）（教育委員会所管）
原案どおり可決

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

- 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
- その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

- （委員）図書館については、窓口業務委託を実施しているが、委託したことで変わったことはあるか。
- （図書館長）窓口業務を委託したことにより自主運営事業に専念できるなどのメリットはある。
- （委員）利用者数や貸出冊数に変化はあったか。
- （図書館長）コロナ禍の影響もあり、比較は難しいが増加傾向にはある。
- （委員）館内に学習スペースなど自由に使えるスペースを増やすことはできないか。
- （教育長）他市町の図書館を訪問する機会があるが、新しい図書館はオープンスペー

スや学習室が多い設計になっている。日高市の生涯学習センターは建物が古くそういったスペースがあまり確保されていない。

(教育部長) 2階にスペースはあるが、目が行き届かないのが課題である。

(委員) 保健相談センターが所管している場所で、空いている時間に開放するなど有効活用ができればよいと思う。

(教育長) 外にテラスを設けたりと、いろいろ工夫はしてきたが時代のニーズに応えるのも限界にきている。

(教育部長) 図書館に求められる機能に時代差が出てしまっているのが現状である。

(教育長) 窓口業務を委託してからは、市民からの評判は良い。

(委員) 図書館のイベントで県立松山女子高等学校の一箱本棚とはどういった内容か。

(図書館長) 学校の図書委員が選んだおすすめの本を展示するイベントである。松山女子高等学校以外の学校でも実施している。

(委員) インフルエンザの影響で多くの学級、学年閉鎖が出ている。カリキュラムの遅延にはどう対応しているのか。

(教育部参事) 閉鎖中にオンラインで授業を実施している学校や、委員会やクラブ活動の日を授業に振り替えている学校、また、学期末の短縮授業を少なくするなど対応している。

(委員) これからインフルエンザはA型からB型にシフトしていくことが予想される。流行は続くと思われるので、授業時間を確保するため備えておくことが大切である。例えば、土曜日に授業を実施することを想定するのであれば、あらかじめ教育委員会から保護者へ今後そういった対応を取る可能性があることを通知しておいたほうがよいと思う。

(委員) ツーデーウオークと市民まつりを一緒に実施することはできなのか。商工会などとタイアップしてスタンプラリーなどを行っても面白いかもしれない。

(委員) 教えない教育について、時間的余裕がないとそういう教育は難しい。45分間の授業では足りないのではないか。

(教育長) 今は全ての時間を45分で切ることはしていない。90分にすることもできる。かけるべきところに時間をかけ、工夫することが大切である。

(委員) 経験上、教え方で心に残るか残らないかが変わってくる。社会科でいえば、ただ史実を覚えるだけでは心に残らない。時代背景や全体を説明してくれると心に残る。

(教育長) 今の教育はそのようにシフトしている。例えば、導入部で1枚の絵を見せ、まずその時代の特徴を説明、話し合ってから、中に入っていく授業を行っている。今はそういう風潮にあるが、まだ、昔に受けた教育のやり方を踏襲しまう教員がいるのが実態である。そこを変えていかなければならない。

(委員) 教えない教育について、保護者と話をすることがあるが、子どもや保護者にその教育方法の理解が浸透していないと感じる。教員のねらいが保護者に伝わらなかったり、子どもが答えを早く知りたがったりしている。

(委員) スマートフォンの文化も影響している気がする。検索すればすぐ答えが出てくるが、それは上辺だけの答えである。

(教育長) 悩むことや何故そうなるのかなど考えることが重要である。

(委員) 英語指導方法改善事業研究協議会が研修会を実施したとあるがどういった内容か。

(学校教育課副参事) デジタル教科書を活用してコミュニケーション能力や指導力の向上を目的とした研修会を実施した。

(委員) デジタル化が進められているが、アナログのデメリットがあるから、デジタルのメリットがあるのである。

(教育長) デジタルかアナログかの2者択一ではない。互いの特性の良いところを活用していくことが大切である。

(委員) 今の学校英語の主流はアメリカ英語なのか。

(委員) 現在はALTに英語の発音指導をしてもらっているが、国籍は様々である。

(委員) 将来的に全ての県立高校で面接試験を実施するという記事を見た。

(教育長) まだ具体的な内容は来ていないが、そういう方向で動いている。

(委員) 現在でも面接試験を実施している公立高校もある。そういった学校を受験する生徒は校長や教頭らと面接試験の練習を実施しているようである。

(委員) 日高市出身のパリオリンピック、マラソン日本代表に内定した小山直城選手について、応援するのはいいが、練習の妨げになるようなことは控えたほうがよいと思う。

(教育長) 本人の負担にならないよう応援していきたいと考えている。

(委員) 校長の人事ヒアリングにおいての主な課題は何か。

(学校教育課長) 学校によって違いはあるが、例えば、育児休業の代替教員の確保などがある。

(委員) 日高市としては、県にどういった人事要望をしていくのか。

(学校教育課長) 小中一貫教育を進めているので、小学校から中学校へ、中学校から小学校への乗り入れ授業ができるよう、両免許を所持している教員を要望している。

(委員) 学級閉鎖等による授業数の不足については、しっかりと管理をし、保護者へも周知をしておいたほうがよい。

(委員) 先日、高麗小学校で行われた教育研究会研究発表を見に行った。先生方が真剣に教育研究に取り組む姿を見ることができた。普段の業務が忙しい中とは思いますが、よい取組だと思うので続けてもらいたい。

(委員) 小学校に電子図書を導入したとはどういったことか。

(図書館長) 児童にID及びパスワードを付与し、学校のタブレット等で無料にて閲覧できるというものである。現在150冊程度の登録がある。

(委員) なかよし音楽会を見てきたが、素晴らしい発表であった。現在の中学校3年生はコロナ禍の影響で他校とのふれあいが少なかったと思う。受験等があるので難しいとは思いますが、何か集まれるイベントがあるとよいと感じた。

(委員) 高校入試の追試験について、文科省が月経痛でも対象にするよう求めるという記事を見た。学校においても月経痛での欠席基準があってもよいと思う。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第35号

(委員) 全国的に電気料金が高騰しているが、教育施設も同様か。

(教育総務課長) 高騰している状況である。過去の実績等を勘案して電気料金予算を計上している。

(教育部長) 昨年度はエネルギー価格の高騰の影響で、2度の補正予算を組んだところである。今回の債務負担行為の補正については、令和6年度の電気料金の契約について、令和5年度中に契約行為を進めるためのものである。

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○12月定例会：12月21日（木曜日）午後1時40分から 委員了承

○1月定例会：1月31日（水曜日）午後1時40分から 委員了承